

令和8年度

第1回 広報部会

令和8年8月25日(火)
13時30分～15時00分
浦和コミュニティーセンター
10F11室

次 第

開 会 稲葉事務局長
※資料確認

会長挨拶 新 井 退職校長会会長
広報担当副会長挨拶 富 田 広報部担当副会長

1 議 事・・・進行 福島 広報部長

(1) 会報188号(本日発行)について

(2) 令和8年(2026年)発行予定の会報について

A 現在進行中の会報発行準備

○189号(2027年1月発行) ・令和9年1月下旬発行予定

・主な内容 ・第1回理事会報告 ・一人一言 ・関ブロ報告

・ゴルフ大会 他

・執筆者報告 月 日 ()

・原稿執筆依頼発送 月 日 () 執筆者へ執筆依頼状を発送

・原稿提出締切 月 日 () 予定

B 今後発行予定の会報

○189号(2027年1月発行予定) ※ 内容等別紙

○190号(2027年4月発行予定) ※ 内容等別紙

(3) 全連退会報・紀要の配布について

(4) 文化欄について

・令和6年9月号(182号)から対応し、カラー化した

・ホームページ「会報文化欄作品」に掲載

(5) ホームページについて(別紙資料)

令和8(2026)年度の運用について

○新会員加入に向けたホームページの活用と作り方

(6) 支部情報交換

2 その他

閉 会 吉 武 副会長

令和8（2026）年度「会 報」 発 行 内 容

発行	会 報 の 内 容						
2026 8 月 発 行	・ 定期総会会長挨拶 ・ 定期総会関連記事（予算・決算報告・事業報告・講演内容・当該年度役員名簿 等） ・ 高齢者叙勲者氏名、 ・ 秋・春 叙勲者氏名 ・ 「彩の国教育の日」協賛 現・退校長支部別教育推進研究協議会前年実施状況報告 ・ 一人一言 10人（各支部 1人） ・ 新会員の声 10人（各支部 1人）						
188	・ 文化欄（別紙 ローテーション表による）						
2027 1 月 発 行	・ 巻頭言 4人（○副会長1人、○支部長1人 小・中学校長会長2人） ・ 「彩の国教育の日」協賛 現・退校長支部別教育推進研究協議会実施報告 ・ 一人一言 13人 ・ 上寿者特別インタビュー（※上寿者の有無による） ・ ゴルフ大会 結果報告 ・ 関東甲信越地区退職校長会連絡協議会報告 ・ 長寿会員、寿詞・記念品 贈呈者氏名 ・ 第1回理事会報告 ・ 現職・退職校長会県役員研究協議会報告 ○「一人一言」執筆者数（2人割り当て支部ローテーション表）						
	発行 年月	2026 年 1 月	2027 年 1 月	2028 年 1 月	2029 年 1 月	2030 年 1 月	※入間、埼玉 支部は毎年 2人（1月号）
	支部	北 足 立 南 部	大 里	北埼玉	さいたま市	北 足 立 北 部	
	人数	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	
189	文化欄（別紙 ローテーション表による）						
2027 4 月 発 行	・ 巻頭言 2人（○副会長1人 ・ ○支部長1人） ・ 寿詞贈呈者氏名（当該年度 前期） ・ 物故会員氏名（当該年度 全員） ・ いまを生きる 10人（各支部 1人） ・ 一人一言 10人（各支部 1人） ・ 定期総会案内 ・ 「校長退職後の再就職・待遇実態調査」研究調査部報告 ・ 第2回理事会報告 ・ 文化欄（別紙 ローテーション表による）						
190	・ 埼玉県退職校長会情報 ・ 令和9年度採用試験結果 ・ 令和9年度登載管理職選考試験結果 ・ 県退職校長会班別会員数						

※入間、埼玉葛
支部は毎年
2人（1月号）

会報「文化欄」支部別ローテーション表

1 作品提供ローテーション表

パターン号 支部名	A			B		
	193 4月号	188 8月号	189 1月号	190 4月号	191 8月号	192 1月号
さいたま市		○	○	○		○
北足立南部	○		○		○	○
北足立北部			○		○	
入間	○		○		○	○
比企		○		○		○
秩父	○				○	
児玉		○		○		
大里		○	○	○		
北埼玉	○				○	
埼葛	○	○		○		○
	5	5	5	5	5	5

※以降 A・Bの繰り返し

※作品のジャンルについては、自由。支部内で創作活動をしている会員の作品で紙面に掲載できる形になっていれば可。(掲載方法については、作者と相談)

- ローテーションに従って、各支部で人選の上、作品提供者を広報担当者へ報告
※報告日については、他の執筆者報告と併せ、事務局から連絡する
- 各支部からの推薦をもとに、事務局から作品提供者に提出を依頼

新会員加入に向けたホームページの活用と作り方

退職校長会のホームページで「新会員の勧誘」につなげるためには、単なる「活動報告」ではなく、「入ると何が得られるのか」「どんな雰囲気なのか」「自分も参加できそうか」が伝わる内容にすることが重要

特に退職直後の校長先生方は、
「退職後に居場所があるか」
「人とのつながりが続くか」
「地域や教育にまだ貢献できるか」
「負担が重くないか」
「楽しさや生きがいがあるか」を気にしている。

そのため、各支部・各班には、単なる会議記録ではなく、次のような“魅力発信型”の記事作成を依頼すると効果的。

各支部・各班へ依頼したい掲載内容

① 「この会の魅力」が伝わる紹介文

－例－

「仲間との交流が続く」
「退職後も教育への思いを生かせる」
「地域活動への参加ができる」
「健康・親睦・学びの場がある」
「無理なく参加できる」
「久しぶりに笑い合える仲間がいる」 など、“人間味”のある内容が必要です。

良くない例

○月○日 総会開催 出席者○名 議案審議 だけでは魅力が伝わりません。

② 活動の「楽しさ」が分かる記事 退職後は「義務」より「楽しさ」が大切

掲載してほしい内容

・旅行 ・散策 ・史跡巡り ・食事会 ・趣味活動 ・カラオケ ・囲碁・将棋
・写真 ・健康づくり ・ウォーキング ・地域ボランティア
など。

特に重要「参加者の笑顔の写真」写真があると、「堅苦しい団体ではない」ことが一瞬で伝わる。

③ 「現職時代とのつながり」退職校長会の強み

－例－

・学校支援 ・教育相談 ・子ども見守り ・読み聞かせ ・地域教育活動
・教育講演 ・学校応援活動
など。

「まだ教育に関われる」という価値は非常に大きい

④ 新会員の声（非常に効果大） 勧誘効果が高い

—例—

- ・「退職後、最初は不安でしたが、先輩方に温かく迎えていただきました。」
- ・「久しぶりに教育談義ができ、元気をもらっています。」
- ・「無理なく参加できる雰囲気でした。」
- ・“現役校長が共感できる言葉”が重要です。

⑤ 「負担が重くない」ことを伝える

退職直後の人は、「役員をやられるのでは」を気にする

・都合のよい時だけ参加可能 ・無理のない活動 ・自由参加型 ・見学歓迎
などを明記すると安心感があります。

⑥ 「役に立つ情報」

単なる親睦だけでなく、「退職後に役立つ会」という印象も重要

—例—

- ・健康講話 ・相続・終活講座 ・年金・税金 ・防災 ・地域情報 ・ICT 活用
- ・生涯学習 など。

⑦ 「地域性」 支部ごとの特色を出す

—例—

・地域の歴史 ・地域文化 ・名所 ・地元行事 ・地域学校との交流
など。「この地域の仲間」感が出ます。

⑧ 写真掲載の工夫（非常に重要） 文章より効果あり

良い写真

- ・笑顔 ・会話中 ・活動中 ・集団写真だけでなく自然な様子

避けたい写真

- ・長机で会議だけ ・無表情 ・表彰状授与のみ ・

⑨ 若い退職者への配慮

最近では退職年齢も若く、「まだ現役感覚」の人も多い

そのため、

・ICT 活用 ・社会参加 ・ボランティア ・学び直し ・趣味拡大
など、“第二の人生”を感じる内容が有効です。